

**鴻巣市全体の傾向**

本市の生徒の結果は、中学校調査の全ての項目・領域において全国・県平均を上回っています。

**国語A(知識)**

調査結果は、全国・県平均を 1.1 ~ 1.5 ポイント上回っています。本市の生徒は、「国語への関心・意欲・態度」が高い状況です。  
「書くこと」の平均正答率はやや低い傾向にあります。

**国語B(活用)**

調査結果は、全国平均 60.8, 県平均 61.1 に対し、本市平均 62.7 と高い正答率です。  
知識同様「書くこと」の正答率が低く自分の言葉で書くこと、分かりやすく書くことに課題があります。

**数学A(知識)**

調査結果は、全国・県平均を 1.5 ~ 3.5 上回っています。特に「数量や図形の表現・処理」では、多くの生徒が内容をよく理解し、高い正答率を示しています。  
「量と測定」の正答率があまり高くなく、本市の生徒にとっての課題といえます。

**数学B(活用)**

調査結果は、全国平均 49.2, 県平均 47.8 に対して、本市平均 51.4 と高い正答率です。中でも図形についての知識・処理の力が高く、端的に答えることは得意な傾向です。  
知識を生かし考えを深め「数学的な考え方」を身につけていくこと、数字と文章で自分の考えをまとめ表現していくことに課題があります。

質問紙調査から

**〔国語の学習について〕**

全国平均値よりも「国語が好き」である生徒の割合は高い値を示しています。また、「国語の勉強は大切」と捉えている生徒が多く、国語学習の意義を理解しています。  
国語の力と関連の深い「読書好き」の割合も高い。さらに生徒は、意識して自分の考えを話したり、分かりやすく話したりしようとしています。

**〔数学の学習について〕**

国語と同様、「数学が好き」「数学の勉強は大切」と捉えている生徒の割合が、全国平均よりも高く、数学を学ぶ意義を多くの生徒が理解しているといえます。  
困難な問題に対しても粘り強く考え、いろいろな方法で解決していこうしたり、生活の中で活用したりしていこうとしています。

学習指導改善のための今後の方策

**〔国語〕**

資料の中から必要な内容を選び、伝えたいことが明確に伝わるように書くこと、読み取った内容をもとに、自分の考えを条件にあった表現に直していく等の活動を通して、分かりやすく書く力を高める指導を工夫していきます。

**〔数学〕**

考え方の基礎となる知識や端的に答えることが得意な反面、数字や文章を用いて、示された条件のもとに理由付けをしたり、分かりやすく説明したりする力を高めていく必要があります。

今まで通り基礎の部分を大切に扱いながら、学んだことを生かし、自分の力で立式したり、自分の言葉で説明したりする機会を授業の中に、意識的に取り入れながら繰り返し指導していくよう取り組んでいきます。